

# 社会科

3年【140時間】

目標	<p>・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決にむけて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	
学期	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
1	<p>【歴史】 第6章二度の世界大戦と日本</p> <p>第7章現代の日本と私たち</p> <p>【公民】 第1編私たちと現代社会</p>	<p>【知技】二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につけている。表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。</p> <p>【思判表】各国の動きについて公正に判断し、自分の意見を述べている。日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。</p> <p>【主】二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。</p> <p>【知技】第二次世界大戦後に行われた日本の諸改革により、日本はどのように再建を遂げていったのかを、苦しい状況の中、男女普通選挙の確立や、日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことを基に理解している。現代の日本の役割が国際社会で大きく変わってきたことを、高度経済成長や沖縄返還などの国際社会との関わりの深まり、冷戦終結後の世界情勢を基に理解している。</p> <p>【思判表】戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現している。現代の日本がどのような特色を持つのかについて、現代の日本の歴史を大観し、その特色を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主】現代の日本の特徴を理解しようと、現代の我々とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立て、課題の解決に取り組もうとしている。</p> <p>【知技】現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解している。現代社会における文化の意義や影響について理解している。</p> <p>【思判表】位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
2	<p>第2編私たちの生活と政治 第1章個人の尊重と日本国憲法</p> <p>第2章国民主権と日本の政治</p> <p>第3篇私たちの生活と経済</p> <p>第4編私たちと国際社会</p>	<p>【知技】人間の尊重についての考え方を、基本的な人権を中心に深め、法の意義を理解している。民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</p> <p>【思判表】対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>【知技】国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解している。議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解している。</p> <p>【思判表】対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主】国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>【知技】身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。</p> <p>【思判表】対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現している。対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現している。</p> <p>【主】私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>【知技】領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。</p> <p>【思判表】対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主】私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
3	第5編私たちの課題	<p>【知技】我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等について理解し、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができているか。</p> <p>【思判表】社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できているか。社会にみられる課題の解決にむけて選択・判断したり思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりして、自分の考えをもつことができているか。</p> <p>【主】社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしているか。</p>

.....